

2021年2月2日

歴史イラストレーター 永井秀樹

— 戦国武将と剣豪を描く —

【ここがニュース!】

永井秀樹は、御前崎市出身で、島田学園高等学校(現学校法人島田学園島田樟誠高等学校)を卒業し、時代小説や歴史関係の雑誌にて表紙や挿画を多く手掛けるイラストレーターです。本企画展では、新聞連載小説『家康』(安部龍太郎著)の挿画をはじめ、オリジナル作品や、普段見ることのできない原画などを多数展示します。永井先生は、この展覧会にて「若い世代の人たちに、イラストレーターの仕事について知ってほしい。フリーランスで働く事の面白さや、自分が得意とすることを仕事にする意義について、伝えたい。」と語っています。小説家や編集者の熱い支持を得て、東京で活躍している地元出身のイラストレーターのお仕事を紹介する貴重な機会です。

【会期中イベント(詳細はチラシ・HP等をご覧ください)】

講話・実演「イラストレーターのお仕事 裏側を聞く/見る」(要予約)

講師: 永井秀樹(歴史イラストレーター)

開催日時: 令和3年2月20日(土)13:30~15:00(受付13:00)

定員: 20名(先着順)

参加費: 300円(別途入館料)

ギャラリートーク「静と動 永井秀樹の筆致」(予約不要)

講師: 曳地真澄(当館学芸員)

開催日時: 令和3年3月6日(土)20日(土・祝)14:00~14:30

参加費: 入館料のみ

【永井秀樹プロフィール】

1974年静岡県御前崎市出身。1992年島田学園高等学校(現学校法人島田学園島田樟誠高等学校)卒業、1994年東京デザイナー学院卒業、2001年講談社フェーマススクールズ受講。

とき

2021年2月6日(土)~2021年3月28日(日) 09:00~17:00

ところ

島田市博物館本館 特別展示室

詳細

□参加者: どなたでも

■取材対応: 2月5日(金)13:00~17:00

■報道駐車場: 博物館駐車場

取材のポイント

永井氏のイラストには、潜在的に時代小説が好きな高齢層だけではなく、歴史が好きな若年層が見ても「カッコいい」と思えるカリスマ的な魅力があります。

下絵に使われる素材は、ダンボールの板です。永井氏の作品をよく見ると、ダンボールのディティールが生きているものがあります。今回は、普段公開されることがない、ダンボールに描かれた原画も多数展示します。

諏訪原城ビジターセンターのジオラマ台など、島田市の文化政策にもご助力いただいています。

私が担当者です: 島田市 教育部 博物館課 博物館係

電話: 0547-37-1000(内線:) FAX: 0547-37-8900

当日の担当者: 博物館課 博物館係 曳地(ひきち) 直通電話(携帯など):

担当者からの一言: 厳しい状況にあっても、もがき苦しみ、不屈の精神で、未来を切り開いていった人々のイラストをお楽しみください。